



令和6年度 事業概要

～石川の礎を築く～



犀川大橋
百寿祭

2024年で犀川大橋は
100歳を
迎えます

2024年7月7日



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所



地域づくりの目標



北陸地方は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の技術・文化とともに、安全で安心な地域を形成し発展してきました。この魅力ある居住環境をさらに充実させ、住む人々の満足感を高め、優れた環境を国内外に発信することによって、多くの人々を北陸地方にひきつけ、交流人口や経済交流の拡大に繋げるとともに、それぞれの地域が持つ資源を活かし、新たな交流機会を地域づくりの推進力として魅力ある地域づくりに取り組み、その個性ある地域が連携した北陸地方を目指します。

目次

地域づくりの目標 2

安全・安心

気候変動を踏まえた水害対策 ~流域治水への転換~	4
流域治水プロジェクト ~手取川での取り組み~	4
流域治水プロジェクト ~梯川での取り組み~	5
流域治水プロジェクト ~白山砂防の取り組み~	6
流域治水プロジェクト ~石川海岸における事業~	7
河川管理施設やダムの維持管理	8
大雨が降っても…	9
日々の生活を支える道路管理	10
道路長寿命化への取り組み	11
大雪が降ったら…	12
TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)	13

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤となる道路ネットワーク	14
能登と三大都市圏(東京・大阪・名古屋)を結ぶ	14
金沢都市圏の環状道路ネットワークの構築	15
幹線道路の渋滞課題の解決	15
幹線道路の防災課題の解決	15
能登、金沢、加賀地域の道づくり	16

暮らし・環境

安全・安心な道路をめざして—交通安全対策・無電柱化—	18
「道の駅」	19
自転車利用環境の整備	19
水辺環境づくり	20
インフラツーリズム(梯川分水路)・水辺の賑わい創出	20
梯川手づくり学習館 洪水対応のお仕事体験コーナー	20
VSP(ボランティア・サポート・プログラム)	21
協力団体制度(河川・海岸・道路)	21
現場見学会	21
白山砂防特派員	21

データベース

略史	22
金沢河川国道事務所管理及び整備区間一覧	23

【石川県の概要】

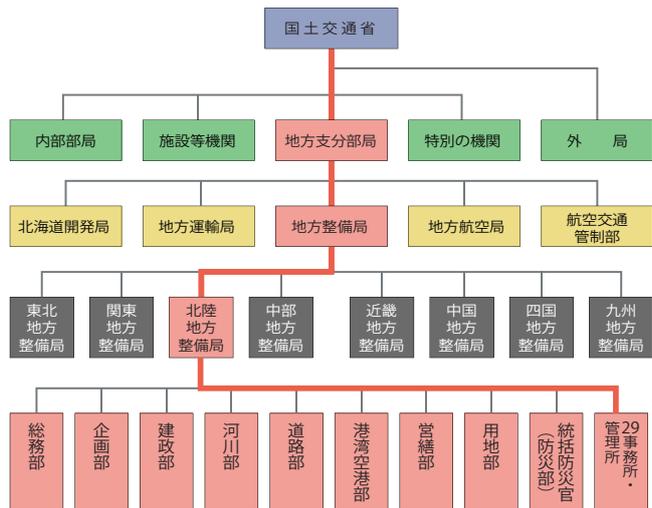
市町数:19市町(11市8町)
面積:4,186.23km²
人口:約112万人(R4.10)



表紙の写真



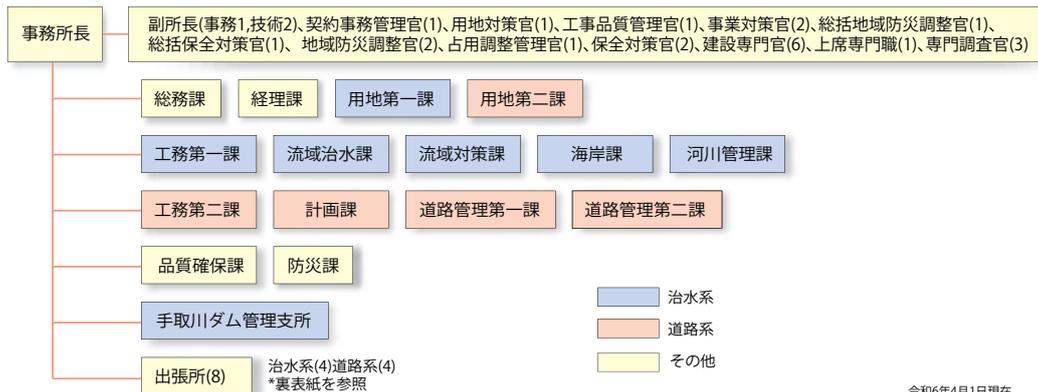
1. トンネル点検(金沢市)
2. 市ノ瀬砂防堰堤(白山市)
3. 梯川引堤(小松市)
4. 能越自動車道輪島道路(輪島市)
5. 除雪作業(穴水町)
6. 犀川大橋百寿祭(金沢市)
7. 手取川ダム(白山市)
8. 石川海岸保全施設(白山市徳光地先)



石川県内の北陸地方整備局事務所	
金沢河川国道事務所	石川県内の直轄管理区間・区域の治水(河川・砂防・海岸・ダム管理)、道路の新設、改良及び維持管理、令和6年能登半島地震により被害を受けた能越自動車道(石川県管理区間)の国が権限代行により行う復旧復興事業
金沢営繕事務所	石川・富山県内の国の官庁施設の整備と保全
金沢港湾・空港整備事務所	金沢港、七尾湾、輪島港、小松空港の整備事業
能登復興事務所	令和6年能登半島地震により被害を受けた、能越自動車道(直轄管理区間)、一般国道249号沿岸部の本格復旧、沿線の地すべり対策、河原田川の河川・砂防事業など、国が権限代行などにより行う復旧・復興事業及び輪島道路の新設

【金沢河川国道事務所の組織】

所掌する各事業に的確に対応するため、15課、1支所、8出張所体制で業務を行っています。



安全・安心

気候変動を踏まえた水害対策 ～流域治水への転換～

流域治水とは

河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その流域の関係者全員が協働して、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、を総合的かつ多層的に取り組みます。

手取川、梯川における流域治水の取り組みは、金沢河川国道事務所ホームページをご覧ください。



手取川・梯川水系
流域治水協議会

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

集水域
雨水貯留機能の拡大
[県・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

河川区域
流水の貯留
[国・県・市・利水者]
治水ダム建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上
[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす
[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

②被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導
[県・市、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
[国・県・市]
二線堤の整備、自然堤防の保全



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
[国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
[企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
[企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
[国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

流域治水プロジェクト ～手取川での取り組み～

令和6年度の事業計画

支川西川・熊田川の合流点付近で手取川本川から支川西川・熊田川への背水を防ぐ2基の樋門のうち、今年度は、熊田川樋門の設置を推進します。



流域治水プロジェクト ～梯川での取り組み～

令和4年8月豪雨

8月3日から停滞した前線により、石川県内で記録的な大雨となり、小松市内を流下する梯川の埴田水位観測所では計画高水位を超過し、観測史上最高水位となる記録的な洪水となりました。

この洪水により、梯川本川の一部で堤防からの越水による氾濫が発生したほか、支川の氾濫や内水氾濫により、広域にわたって浸水被害が発生し、流域全域に甚大な被害をもたらしました。



梯川水系緊急治水対策プロジェクトの実施

甚大な被害が発生したことを踏まえ、梯川水系においては、各関係機関で構成された「令和4年8月豪雨災害を踏まえた梯川水系流域治水対策検討部会」を組織し、国、県、市等が連携した「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました。このプロジェクトで再度災害防止対策、流域全体の治水安全度を向上させるための事前防災対策を推進します。



■引堤、河道掘削、堤防整備

川幅を広げることにより、洪水時の水位を低減させます。

流れる量が同じでも流れる高さが低くなる

引堤 堤防かさ上げ 河道掘削

引堤前

引堤後

新川幅 旧川幅

金屋町 能美町 能美大橋 梯川高架橋

H30.11撮影 R5.2撮影

■河道掘削

川底の土砂を掘削し、河川の洪水を流下させる断面を拡大することで、水位を低減させます。

左岸側 河道掘削前水位 河道掘削後水位 右岸側

河道掘削

令和6年度の事業計画

「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」に基づいた事業の推進を主に実施します。

小松地区では、川底の土砂を掘削し、河川の断面を拡大させ、佐々木地区では、舟場橋の架替え工事の着手、引堤、護岸工事、樋管工事を行います。



流域治水プロジェクト ～白山砂防の取り組み～

手取川の下流域や沿川における地域社会のいのちと暮らしを守るため、手取川上流域において砂防事業・地すべり対策事業を実施しています。



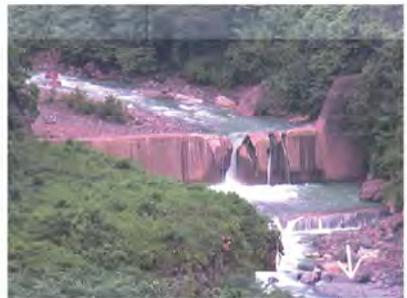
①尾添川第3号砂防堰堤



イメージ図

平常時の適正な土砂供給及び土砂流や大規模土砂流出を抑制する機能を兼ね備えた透過型形式の砂防堰堤を整備します

②猿花上流砂防堰堤改築



猿花上流砂防堰堤（昭和56年完成）について、老朽化の著しい砂防堰堤の改築（長寿命化対策）を行います

③猿壁砂防堰堤改築



猿壁砂防堰堤

大規模土砂流出に伴う河道閉塞対策として、猿壁砂防堰堤（昭和38年完成）の改築を行い、土砂調節機能の増進を図ります

④甚之助谷地すべり全景



④甚之助谷地区地すべり対策
排水トンネル工



第11号排水トンネル

甚之助谷地すべりの地下水排除として集水ボーリング工、排水トンネル工等を整備します

流域治水プロジェクト ～石川海岸における事業～

令和6年度の事業

石川海岸では、海岸侵食や風浪による越波災害を防止するため、沖合施設の整備事業と砂浜の回復事業を推進します。

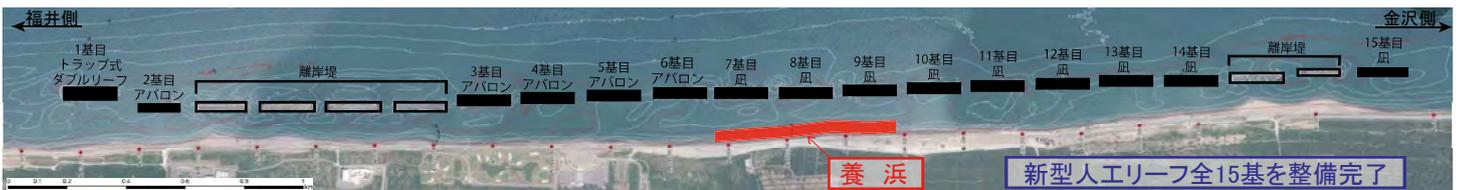
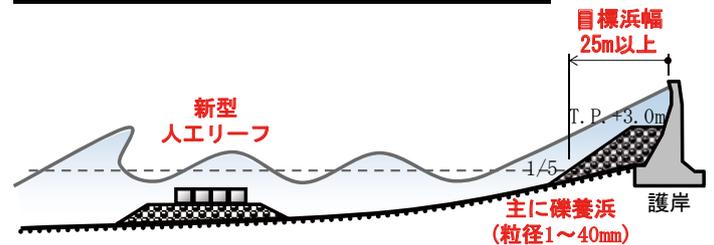
小松工区の整備

小松工区安宅新町および草野町地先において、従来の人工リーフに比べ優れた消波効果、水位上昇量の低減およびコスト削減を図った新型人工リーフを令和5年度に計画の全15基を整備完了しました。

また、防護・環境・継続安全に関してバランスのとれた養浜を推進することで、波の打ち上げ高を低減させ、砂浜の侵食を防止します。

令和6年度の施工箇所

新型人工リーフの実態効果を反映した養浜計画



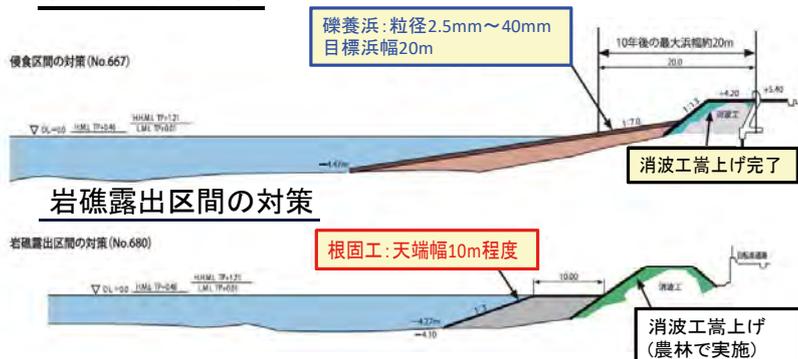
片山津工区の整備

片山津工区篠原町から塩浜町地先は、越前海岸国立公園内に位置し、沖合の岩礁域を利用した漁業が盛んなことから、景観と利用に配慮した養浜工事等を実施します。

令和6年度の施工箇所



侵食区間の対策



河川管理施設やダムの維持管理

治水・利水のかなめ—手取川ダム—

手取川ダムは、手取川河口から約40km上流にある日本でも最大級の「ロックフィルダム」です。

「洪水調節」と「都市用水（水道・工業）の確保」、「発電」のための多目的ダムです。



石川県民の暮らしを支える”水がめ” **利水**

手取川ダムの水は、金沢市を中心に北は七尾市から南は加賀市まで9市4町に水道水として供給されています。

また、水の落差と水量を有効に利用した、水力発電をダム下流約1.5kmに設置された手取川第一発電所で行っています。最大出力は250,000kWとなっています。

大切なダムの役割を守るために

地域にとって大切な役割を持つ手取川ダムですが、いざという時にこの役割を果たせないと大変です。

このため、普段からしっかり、メンテナンスや管理を行っています。



取水施設の定期点検

下流域を水害から守る **治水**

大雨の時には手取川ダムで一時的に水を溜めることで下流域への洪水量を減らす調整を行い、下流域での水害を軽減させます。

日常から河川管理施設の点検をしています

大雨の時に、河川堤防の変状が原因で決壊したり、樋門等の操作に不具合が生じないように、普段から巡視や点検を行っています。



許可工作物の合同点検



職員・委託巡視員による河川巡視

堤防の治水機能を維持するために

堤防の表面等の状態確認ができるよう、梅雨期前と台風期前の年2回、堤防除草を実施しています。

近年、野生動物の穴掘りによる堤防損傷が増えています。堤防損傷の原因動物を特定し、堤防の機能維持のための対策を実施しています。



大型除草機による除草



堤防点検により堤防の変状を確認



赤外線センサーカメラに写ったキツネ



キツネの巣穴による堤防の損傷

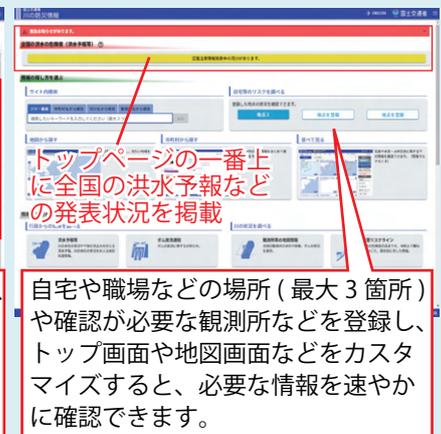


ブロック張りによる堤防法面の強化

大雨が降っても…

川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>

国土交通省が運営する防災ポータルサイトです。気象・河川・土砂災害等を1画面でまとめて確認できます。XRAIN（レーダー雨量）、気象警報・注意報、河川CCTVカメラ、川の水位情報、浸水の危険が高まっている河川、洪水予報等の情報が掲載されています。

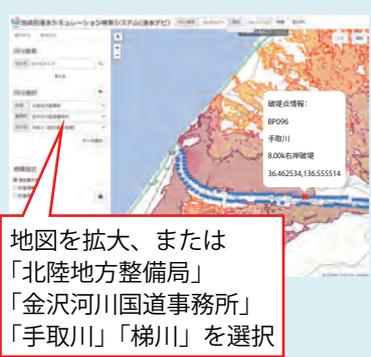


河川CCTVカメラで現在の川の状況を確認

浸水ナビ

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

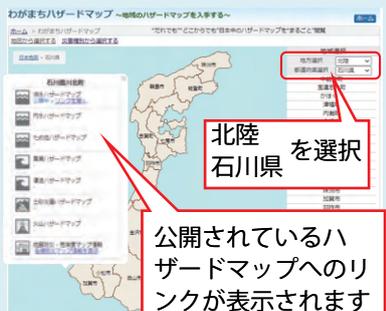
自宅などの調べたい地点を指定することで、『どの河川が氾濫した場合に浸水するか』『どれくらいの時間で氾濫水が到達するか』『どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか』等の浸水リスクを調べることができます。



わがまちハザードマップ

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/>

全国の地方公共団体のハザードマップを閲覧できるリンク集です。全国のハザードマップを種別ごとに検索することができます。



SNSによる情報提供

<https://twitter.com/KanazawaBousai1>

SNSで手取川と梯川の洪水時における水位情報や河川に関するイベントなどの情報を発信しています。是非ご覧ください。



金沢河川国道事務所 河川情報室



手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会



平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、手取川及び梯川流域において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、河川管理者、県、市町等が連携協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に推進するために、「手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会」を平成28年5月より開催しています。

新たな避難情報（内閣府HP防災情報のページより）

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保 ※1 きんきゅうあんぜんかくほ ～～警戒レベル4までに必ず避難！～～	災害発生情報 （発生を確認したら発令）
4	避難指示 ※2 ひなんじし 避難準備・高齢者等避難開始	・避難指示（緊急） ・避難勧告
3	高齢者等避難 ※3 こうらいしゃとうひなん 大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）
2	早期注意情報 （気象庁）	早期注意情報 （気象庁）
1	早期注意情報 （気象庁）	早期注意情報 （気象庁）

令和3年5月20日から
避難指示で必ず避難
 避難勧告は廃止です。

※1 市町村が災害の状況を確認し把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

日々の生活を支える道路管理

道路の維持管理計画(案)

道路を維持管理する上で必要なパトロール（落下物処理や道路異常の早期発見、補修等を実施）、清掃、除草、剪定等の作業は、「金沢河川国道事務所道路の維持管理計画（案）」に沿って計画的に行っています。

作業内容	作業頻度
パトロール	・原則 2日に1回※
路面清掃	・原則 年間6回以内（人口集中地区）
	・原則 年間1回以内（上記以外）
歩道清掃	・原則 落葉等の除去に限定して実施
排水構造物清掃	・原則 年間1回を目安
除草	・原則 年間1回を目安
剪定	・高木、中低木原則3年に1回程度
	・寄植 原則1年に1回程度

※国道470号七尾氷見道路は原則1日に1回



パトロールで発見した落下物の回収



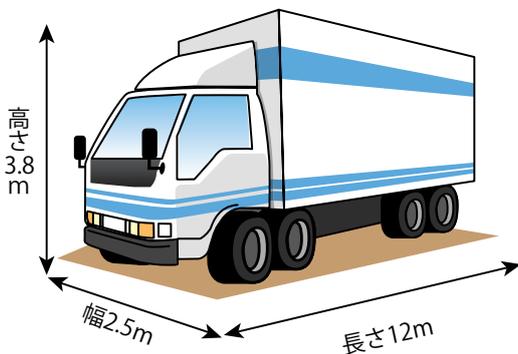
路面清掃車による清掃

道路管理者の承認が必要な工事

- ・自動車乗入のために行う歩道の切下工事
- ・宅地造成等に伴う道路法面の切取り、埋立工事及び出入路の工事
- ・都市計画、又は土地区画整理法等に基づく道路の拡幅、取付工事

特殊車両

- ・車両制限令に規定されている大きさや重さを1つでも超える車両を「特殊車両」といいます。
- ・特殊車両の通行は、道路管理者の通行許可を受けなければなりません。



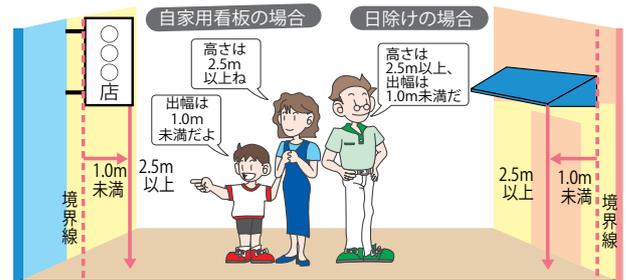
総重量 20t (25t※)

※高速自動車道、指定道路においては、軸距の長さに応じ最大25 t

道路占有

道路は国民の共有財産です。道路上（上空含む）を特定の人が継続使用する場合は、申請し許可を受ける必要があります。また、物件によってはお金がかかるものもあります。土地を借りた場合の借地料と同じです。

- 許可できないものの一例
立看板、広告板、商品置場、のぼり旗、貼紙等
- 許可できるものの一例
突出看板、日除け、投光器、工事用足場等



道路緊急ダイヤル（#9910）

- ・道路緊急ダイヤル（#9910）は、全国共通24時間受付無料です。
- ・道路利用者が幹線道路の異状等を発見した場合に直接道路管理者に緊急通報し、それを受けた道路管理者は迅速に道路異状への対応を図ることによって、安全を確保します。
- ・緊急通報の対象となる道路の異状
道路の穴ぼこ、路肩崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れ等
- ・LINEで通報可能です



国土交通省LINE通報アプリ

道路長寿命化への取組み

道路を安全に利用し続けるために、橋梁やトンネル等の道路構造物については、「点検⇒診断⇒措置⇒記録」というメンテナンスサイクルに基づく適切な維持管理を実施しています。

道路の安全性を点検

橋梁・トンネル等の点検・診断を行います。



橋梁点検



トンネル点検



附属物点検



防災点検(法面等)

計画的な道路補修

道路施設の点検・診断の結果、安全性に問題が認められた施設については、補修等の対策を行い、各施設の長寿命化に努めます。



国道8号犀川橋(下り) 塗装の塗替



国道470号穴水町北七海地先 舗装修繕

長寿橋梁を活用したにぎわい創出「浅野川大橋100周年」「犀川大橋100周年」

定期的な点検と補修により、インフラの長寿命化を図っています。
特に金沢市内に架かる浅野川大橋と犀川大橋はいずれも歴史的な価値が認められ、2000年（平成12年）に国の登録有形文化財に登録されています。



1922年（大正11年）竣工

2022年に100歳
国道159号 浅野川大橋
美しいアーチ型が大正ロマンを
伝える浅野川大橋



1924年（大正13年）竣工

2022年に浅野川大橋・犀川大橋100周年記念サイトを作成しました。

<https://asanogawa-saigawa-bridge100th.com/>

2024年に100歳
国道157号 犀川大橋
道路橋としては日本で最古のワーレントラス形式※1の橋である犀川大橋
※1 斜めの鋼材が上向き、下向きと交互になっている形式

浅野川大橋は2022年（令和4年）に架橋から100年を迎え、2022年10月15日に100周年を記念する浅野川大橋百寿祭を開催しました。

2024年（令和6年）には犀川大橋も架橋から100年を迎えることから、2024年7月7日に100周年を記念する犀川大橋百寿祭を開催します。

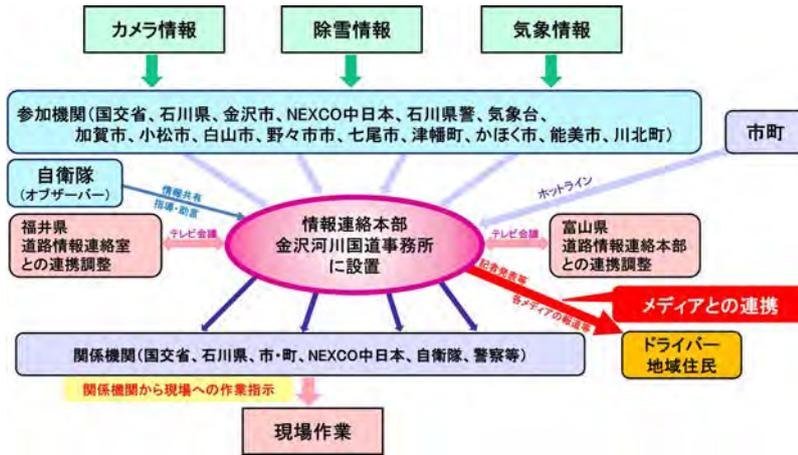


大雪が降ったら…

関係機関との連携「情報連絡本部」

大雪警報や異常降雪が予想される時には関係機関（国、県、警察等）が集まり「情報連絡本部」を開設します。

各機関が持つ情報を一元化し、共有することで除雪作業等の連絡調整、ドライバーへの迅速な情報提供を行います。



情報連絡本部の設置(金沢河川国道事務所内)
(令和3年1月)



国道8号 舟橋JCT
予防的措置の交通案内状況(令和6年1月)

ホームページによる情報提供「みちなび石川」

冬季の道路情報（ライブ画像）はホームページ「みちなび石川」で情報提供をしています。他の道路管理者及び関係機関とのリンクを行っています。



<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/michinavi/index.html>



SNSによる情報提供

「金沢河川国道事務所道路情報室X」で金沢河川国道事務所管内の道路状況を発信しています。



<https://twitter.com/KanazawaBousai>



除雪用機械

国が管理する国道5路線 約206km^{*1}に除雪車93台^{*2}を配備し、国道の除雪にあたります。

- ※1 国道8号・157号・159号・160号・470号の5路線。
なお、国道157号は金沢市青草町～白山市白山町まで、
国道470号は 能越自動車道のと里山空港IC～のと三井IC、
七尾IC～富山県境区間
- ※2 令和6年3月31日現在



除雪グレーダー



凍結防止剤散布車

TEC-FORCE ※ (緊急災害対策派遣隊) ※Technical Emergency Control Force : テックフォース

- 地震・水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務
 - 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、人員・機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化
- ▶
- 全国の職員等が国土交通省の総合調整により活動
 - 国が主体的に緊急調査を実施
 - 地方公共団体と連携して必要な緊急応急対策を実施

被災状況の迅速な把握

社会基盤施設の早期復旧

二次災害の防止

その他災害応急対策

- ◆ 先遣班
- ◆ 被災自治体支援班 (リエゾン)
- ◆ 現地活動調整班
- ◆ 情報通信班
- ◆ 高度技術指導班
- ◆ 被災状況調査班 (ヘリ調査)
- ◆ 被災状況調査班 (現地調査)
- ◆ 応急対策班 (災害対策機械)

活動状況

令和6年1月1日に志賀町・輪島市で震度7を観測した令和6年能登半島地震では、発災直後から先遣班を派遣して被災状況の迅速な把握を行ったほか、道路、河川等の被災箇所に被災状況調査班 (現地調査) を派遣して踏査し、復旧対応に必要な調査資料をとりまとめました。復旧作業においては、応急対策班を派遣して道路啓開活動等を行い、現場に照明車を派遣して夜間作業を支援しました。また、避難所では照明車による電源供給支援を行いました。



道路啓開作業



照明車派遣



河川調査

令和5年12月24日からの大雪による災害では、孤立集落解消に向けた道路啓開作業のため、輪島市から照明車の出動要請があり、照明車1台を派遣して支援を行いました。



照明車派遣



照明車派遣

訓練の実施

様々な状況を想定し災害対策機械の操作訓練を実施しています。



被災調査を想定したUAVの操作訓練

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤となる道路ネットワーク

地域の活力・成長力の礎となる道づくり

当事務所では、県内の経済活動や生活環境の礎となる道路ネットワーク整備を進め、重要港湾である金沢港を中心とした物流活動や、北陸新幹線開業効果を県全域に波及させるための周遊観光の促進に貢献します。



港湾機能の強化が進む金沢港
(金沢港クルーズターミナル)



多くの人で賑わう青柏祭 (七尾市)

「ダブルラダー輝きの美知」構想

石川県では、広域幹線道路整備の基本方針として「ダブルラダー輝きの美知」構想が策定されています。

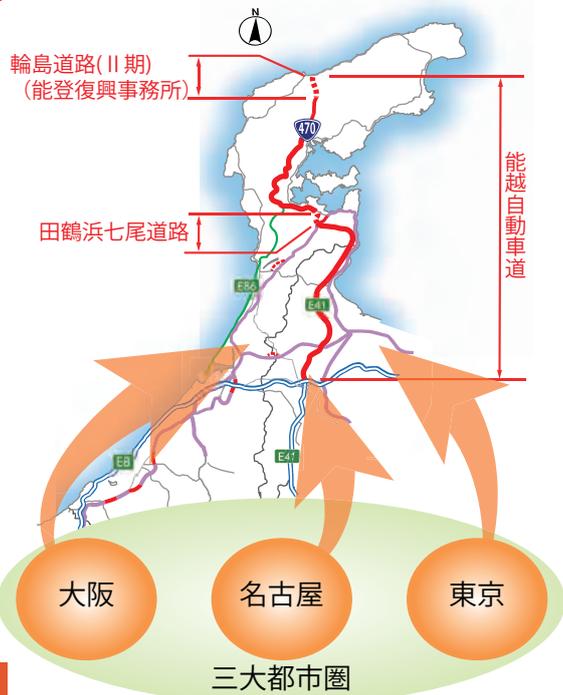
当事務所では、この構想を後押しするため、国民・県民生活の安全安心の確保、真に必要な社会資本の着実な実施、持続可能で活力のある国土・地域づくり等、当面する課題に対応する事業に重点を置きながら推進していきます。



「ダブルラダー輝きの美知」構想

能登と三大都市圏（東京・大阪・名古屋）を結ぶ

国道470号 能越自動車道



国道470号能越自動車道は、石川県輪島市を起点に同県七尾市を経由し、富山県砺波市に至る、延長約117kmの高規格幹線道路です。

能登半島へのアクセス向上や、災害に強く、安全で信頼性の高い道路ネットワークを形成することで、物流の活性化、観光圏域の拡大や沿道地域の連携強化を支援します。また、国土幹線軸を構成する北陸自動車道及び東海北陸自動車道と接続し、能登地域と東京・大阪・名古屋を中心とする三大都市圏との交流を促進します。



輪島道路ののと三井IC付近



田鶴浜七尾道路

金沢都市圏の環状道路ネットワークの構築

石川県内で交通が集中する金沢都市圏では、慢性的な渋滞や交通事故多発などの交通課題が発生しています。環状道路の機能強化を図ることで、国道8号や中心部への経路分散を促し、交通環境の改善や金沢中心部のまちづくり（公共交通の充実、自転車・歩行者優先）に貢献します。



国道8号 福久地区の混雑状況



国道157号 片町地区
中心市街地の混雑状況



金沢都市圏の環状道路ネットワーク

金沢外環状道路の役割



幹線道路の渋滞課題の解決

・国道8号 乾東局所渋滞対策

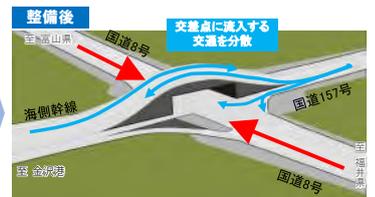
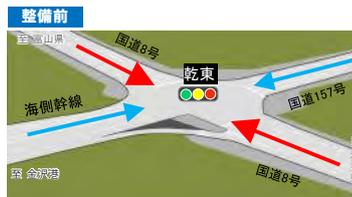
幹線道路の交差点を立体化することにより、交通を分離し渋滞ボトルネックの解消を図ります。

〈国道8号〉

〈海側幹線〉



国道8号 乾東交差点の渋滞状況



交通量が多い路線との
平面交差のため青時間が短く設定

交差点に流入する交通を分散し
国道8号の青時間を延長 ⇒ ボトルネックの解消

幹線道路の防災課題の解決

大雨や大雪などの防災上の課題により、大規模な渋滞や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある路線区間において、災害に強く信頼性の高い道路交通を確保します。

国道8号 牛ノ谷道路

石川・福井県境部における冬期の道路交通機能向上を図るとともに、事前通行規制区間の解消等による信頼性の高い幹線道路ネットワーク確保を目的とした道路整備事業です。

令和6年度は、調査設計及び用地買収を推進します。



国道8号 倶利伽羅防災

国道8号の大雨による事前通行規制区間の回避及びトンネルの幅員狭小による事故危険区間の解消を目的とした道路整備事業です。

令和6年度は、調査設計、用地買収及び改良工事を推進します。



能登、金沢、加賀地域の道づくり

能登地域

・国道470号 能越自動車道 輪島道路(Ⅱ期)

輪島市杉平町の輪島 IC (仮称) から同市三井町本江ののと三井 IC に至る、延長 6.8km の事業です。

令和6年度は、輪島 IC (仮称) ～ののと三井 IC 間で、調査設計、用地買収、改良及び橋梁下部工事を推進します。



・国道470号 能越自動車道 田鶴浜七尾道路

七尾市赤浦町の病院西 IC (仮称) から同市千野町の七尾 IC に至る、延長 3.4km の事業です。

令和6年度は、調査設計、用地買収、改良及び橋梁下部工事を推進します。

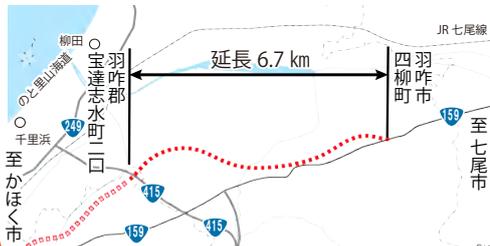


・国道159号 羽咋道路

国道 159 号現道部の渋滞・事故の低減及びのと里山海道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。

令和6年度は調査設計、用地買収、改良工事を推進します。

また、羽咋市四柳町～志々見町間の延長 3.3 km で、令和7年内開通を目指して舗装工事を推進します。



加賀地域

・国道8号 小松バイパス

国道 8 号の交通量増加に伴う交通混雑の緩和及び交通事故の減少、主要幹線道路のネットワーク強化を目的としたバイパス 4 車線化事業です。

令和6年度は小松市津波倉町～加賀市箱宮町間の調査設計、橋梁上下部工を推進します。





金沢地域

・国道8号 海側幹線（今町～鞍月）

「金沢外環状道路」の一部として、海側幹線の本線整備により、金沢都市圏における円滑な交通ネットワークの形成や安全性の向上、物流効率化による地域経済活動の効率化などを目的とした高規格道路事業です。
令和6年度は調査設計及び用地買収を推進します。



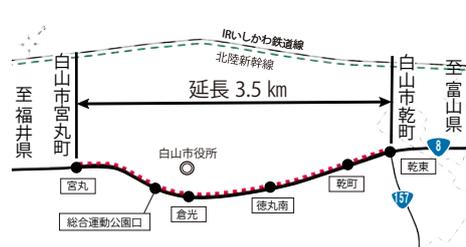
・国道159号 金沢東部環状道路

「金沢外環状道路」の一部として、金沢市中心部の交通混雑の緩和、北陸自動車道やのと里山海道と連携する広域的な道路ネットワークの形成を目的とした高規格道路事業です。
令和6年度は金沢市梅田～同市月浦町間において、調査設計、改良及び橋梁下部工事を推進します。



・国道8号 松任拡幅

国道8号の白山市街地部における慢性的な交通混雑の緩和及び交通事故の減少を目的とした現道拡幅事業です。
令和6年度は調査設計及び用地買収を推進します。

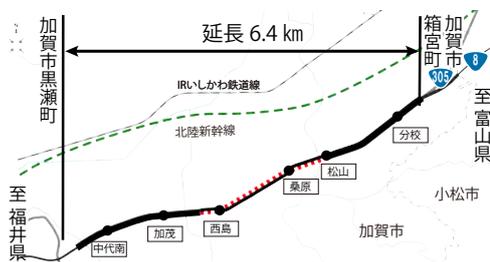


—	事業箇所
- - -	事業箇所（未開通）
—	直轄国道
—	補助国道
—	北陸自動車道
—	のと里山海道

・国道8号 加賀拡幅

国道8号の交通混雑の緩和及び交通事故の減少を目的とした現道拡幅事業です。

令和6年度は加賀市松山町～同市加茂町間の改良及び舗装工事を推進します。



暮らし・環境

安全・安心な道路をめざして —交通安全対策・無電柱化—

交通安全対策

歩道整備、交差点改良及び道路標識、路面標示、道路照明、防護柵等の交通安全施設の整備により、安全・安心な道路交通環境の形成、事故防止対策を実施しています。



無電柱化(電線共同溝)

「無電柱化」とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝等の整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線等により、道路から電柱をなくすことです。下記の3つの観点から推進しています。

- 「安全・快適」・・・無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保
- 「防災」・・・大規模災害(地震、竜巻、台風等)が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路寸断の防止
- 「景観・観光」・・・景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成



交通安全の確保に向けた取組

■生活道路の交通安全対策

地域ニーズや、ビックデータ等に基づき抽出したエリアにおいて、国、自治体、地域住民等が連携し、徹底した通過交通の排除や車両速度の抑制等のゾーン対策に取り組み、子供や高齢者等が安心して通行できる道路空間の確保を目指します。

新たに、警察による低速度規制(ゾーン30)と道路管理者による物理的デバイスの設置(ハンプ等)を組み合わせ、交通安全の向上を図る「ゾーン30プラス」の取り組みを行っています。



速度抑制対策(狭さく)
(能美市宮竹町)

■通学路の交通安全対策

教育委員会、学校、道路管理者、警察等が連携し、定期的に合同点検を実施し、ハード・ソフトの両面から必要な対策を推進しています。



通学路安全推進協議会



通学路合同点検

「道の駅」



「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交環環境の提供と、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしており、石川県内では26駅が登録されています。

今後は、「道の駅」におけるインバウンド観光への取り組みや子育て応援施設の整備、災害時には防災拠点として整備活用できるよう、各関係機関と連携しながら進めていきます。

「道の駅」3つの機能



- 休憩機能** 24時間無料で利用できる駐車場、トイレ
- 情報発信機能** 道路情報、観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域の連携機能** 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

- ・地域防災計画に位置づけられた「道の駅」は、災害時に支援基地等の機能を発現
- ・乳幼児に対する授乳やおむつ交換が可能なスペースを備え、子育て応援施設としての機能を発現



「道の駅」めぐみ白山



24時間利用可能なベビーコーナー



かまどベンチ

自転車利用環境の整備

歩行者・自転車・クルマのそれぞれが安全に安心して通行できる道路空間の創出に向けて、学識者、道路管理者（国・県・市）、警察（県警本部、所轄警察署）が連携を図り、面的な自転車ネットワークを継続的に整備しています。

さらに、自転車通行空間を正しく利用するため自転車交通安全教育を推進していきます。

●自転車走行指導帯の設置 (国道159号)

●協議会の開催 (事務局窓口)

●自転車走行指導帯の設置 (国道359号)

●自転車走行指導帯の設置 (県道窪野々市線)

国土交通省 石川県

連携

金沢自転車ネットワーク協議会

金沢市 石川県警察

●自転車走行指導帯の設置 (せせらぎ通り)

●金沢市公共シェアサイクル「まちのり」

●高校生フォーラム

●子ども自転車大会

デンマーク式自転車教室の様子

金沢自転車ネットワーク協議会 [検索](#)

道路管理者及び警察の連携体制と主な取組事例

水辺環境づくり

河川の水辺環境調査

国土交通省では、河川の環境を調査する目的で、毎年「河川水辺の国勢調査」を実施しています※。また、川にすむ生き物を採取し、その種類を調べることで、水質を判定する水生生物調査をしています。

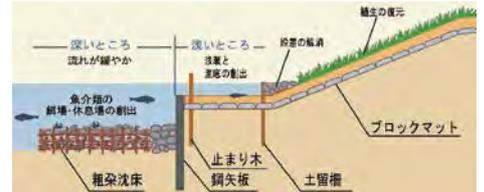
調査の結果、手取川・梯川では多くの種類の動植物が生息する良好な河川環境であることが分かりました。 ※ 調査結果は以下のURLからご覧頂けます。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/census/index.html>



児童と一緒に水生生物調査を実施

多自然川づくり

手取川・梯川では、生物の良好な生息環境や美しい自然景観に配慮した川づくりに取り組んでいます。



多自然川づくりのイメージ図（梯川）

インフラツーリズム（梯川分水路）・水辺の賑わい創出

梯川分水路は、洪水を安全に流すことと国の重要文化財である小松天満宮神門および本殿を現位置に保存するために、全国でも珍しい「分水路方式」を採用した河川改修です。浮島となった小松天満宮は地域のシンボルとなっています。



7箇所（★印）に説明看板が設置されています。各看板には、分水路に関する説明や梯川の内容などを動画にて説明しています。



説明看板には二次元コードが付いており、スマートフォンなどで読み込むと動画による説明を視聴できます。

梯川手づくり学習館 洪水対応のお仕事体験コーナー

梯川手づくり学習館（前川排水機場内）には水害から街を守る国土交通省と小松市の防災の仕事を模擬体験できるコーナーがあります。

ここでは、子供たち（小学生4年生以上）を国土交通省職員（かわこくキッズ）として任命し、梯川で洪水が発生した場合の対応（情報伝達、水防活動など）をアトラクション感覚で体験することができます。

水害対策本部体験



水害時に対策の拠点となる「国土交通省」と「小松市」の仕事を体験します。河川パトロールへの出動命令（トランシーバーで交信）や水防警報（出動）発表、避難指示の発令等、国や市の職員になりきり体験します。

水防活動体験



洪水時の被害を防止もしくは軽減する水防活動を体験します。洪水が堤防を越えることを防止する「積み土のう工」や堤防からの漏水を防止する「月の輪工」に挑戦。実際に体験することで防災に対する意識が高まります。

前川ポンプ場操作体験



梯川の支川前川流域内の内水被害を防止するため、洪水時に前川から梯川本川へ排水するための「前川ポンプ場（前川排水機場）」や梯川逆水門の役割を学習し、毎秒62トン排水できる排水ポンプの模擬操作体験ができます。

マイ・タイムライン作成



大雨などの自然災害によって避難しなければならなくなったとき、どうすればよいかを前もって考えておく「マイ・タイムライン」の作成を学びます。これを通じて、災害発生時における避難行動について子どもたち自身が考えます。

VSP（ボランティア・サポート・プログラム）

道路の美化清掃等に取り組む地域団体や企業を支援しています。

当事務所では、令和6年3月現在、37団体が登録し、歩道清掃・植樹帯の管理・歩道除雪等を行っています。また、そのうち28団体がボランティア・サポート・プログラム（VSP）を利用し、団体・国・市の三者間で協定を締結して活動しています。



国道沿線で花を植える活動団体

協力団体制度（河川・海岸・道路）

河川・海岸や道路における環境保全の取り組み等の身近な課題の解消や各利用者のニーズへのきめ細やかな対応等に自発的に取り組む民間団体を「協力団体」として北陸地方整備局長が指定し、その活動を支援しています。

当事務所では令和5年3月現在、河川協力団体、海岸協力団体、道路協力団体が合わせて4団体指定されています。



犀川大橋ブルーライトアップ



石川海岸で清掃する活動団体



国道沿線で歩道を清掃する活動団体



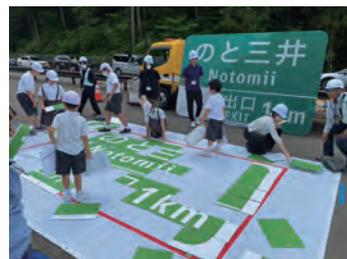
梯川で清掃する活動団体

現場見学会

地域の方々や学生の皆さんに河川や道路の社会資本整備の工事現場を実際にみてもらうことにより、事業の必要性や建設業の魅力を理解していただくことを目的として、現場見学会を開催しています。



海岸現場見学会の様子



輪島道路現場見学会の様子



白山砂防特派員

優美な姿で人々を魅了する霊峰白山。その一方で、白山の地質は非常に脆く、川の勾配が急で流れが速く、ひとたび雨が降ると土砂災害など思わぬ自然の猛威を受けることとなります。

特派員は、白山や白山砂防を見て、聞いて、考えて頂き、そこで得られた内容を広く情報発信する大切な役割を担っています。



特派員による防災啓発活動

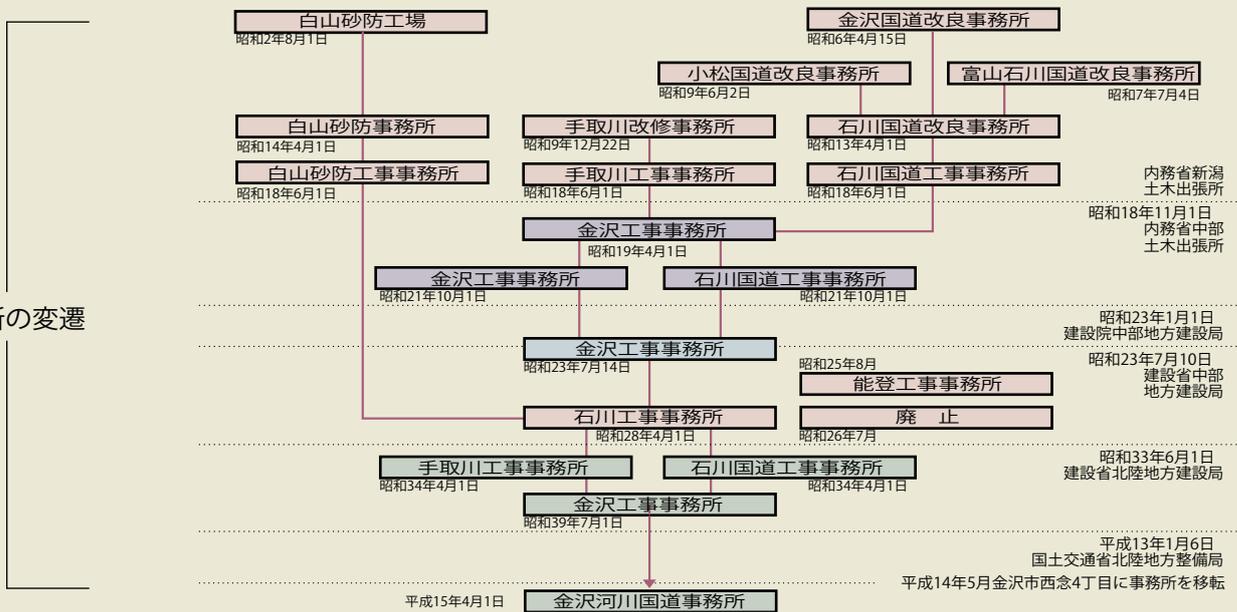


現場研修（中股川砂防堰堤郡）

データベース

年度	略史	年度	略史
昭和39年度	8号一次改築全線完了	平成12年度	国道157号犀川大橋登録有形文化財に登録
昭和40年度	手取川支流川安産川樋管完成	国道159号浅野川大橋登録有形文化財に登録	
昭和43年度	8号金沢バイパス、石川郡野々市町三日市～松任市宮丸開通	平成13年度	白山砂防科学館開館／鹿島バイパス全線開通
昭和46年度	手取川水衝部護岸ほぼ完了	金沢東部環状道路部分開通(延長1.3km、金沢市今町～同市梅田町)	
	金石高架橋供用開始	むさしクロスピア改修完成	
昭和47年度	金沢バイパス全線開通(暫定2車線)	平成14年度	松任～寺井間4車線化・小松バイパス全線開通／石田橋完成
昭和48年度	金沢バイパス松任地区4車線概成	金沢東部環状道路部分開通(延長2.4km、金沢市東長江町～同市鈴見台)	
昭和50年度	金沢バイパス4車線概成／宇ノ気道路4車線完成	平成15年度	月浦白尾IC連絡道路・津幡バイパス全線開通
	白峰バイパス完成	金沢東部環状道路部分開通(延長2.1km、金沢市梅田町～同市月浦町)	
昭和51年度	手取川大橋2車線完成／美川水門完成	平成16年度	西念交差点立体化、諸江～南新保6車線化完成
昭和52年度	武蔵地下横断歩道完成	平成17年度	津幡北バイパス部分開通(延長0.5km、津幡町加茂～舟橋)
昭和53年度	金沢西バイパス部分開通(手取川左岸まで)	平成18年度	金沢東部環状道路全線開通／穴水道路全線開通
	津幡バイパス暫定供用開始／金沢バイパス4車線完成	津幡北バイパス部分開通(延長1.7km、津幡町庄～加茂)	
昭和54年度	157号(権限代行)一次改築完了／手取川ダム完成	平成19年度	榊川手づくり学習館開設
昭和55年度	金沢西バイパス(能美郡根上町赤井～同町五間堂)、	柳谷上流砂防堰堤群完成	
	鶴来バイパス(石川郡鶴来町井ノ口～同町明島町)開通	尾添川第2号砂防堰堤完成	
昭和56年度	安産川排水機場完成	津幡北バイパス全線開通(延長1.9km、津幡町刈安～倉見)	
	金沢西バイパス(能美郡根上町五間堂～小松市高堂)開通	平成20年度	示野町地区6車線化開通(延長1.3km、金沢市藤江町～示野町)
昭和57年度	金沢西バイパス全線開通(延長8.57km 2車線)	武蔵地区歩道拡幅(延長0.2km、金沢市青草町～下堤町)	
昭和58年度	鶴来バイパス部分開通(延長1.4km 2車線、石川郡鶴来町安養寺～同町知気寺)	犀川大橋補修完成	
	鹿島バイパス部分開通(延長2.6km、鹿島郡鹿島町黒氏～鹿島町小竹)	平成21年度	159号津幡バイパス4車線化開通(かほく市内日角～津幡町舟橋)
昭和59年度	押水バイパス部分開通(延長1.8km、押水町南吉田～同町上田出)	8号南郷拡幅完成(延長4.7km加賀市細坪町～熊坂町)	
昭和60年度	南郷拡幅部分開通(延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町)	平成22年度	8号加賀拡幅部分開通(延長2.0km、加賀市箱宮町～松山町)
	鹿島バイパス部分開通(延長5.0km、七尾市下町～鹿島郡鹿島町黒氏)	平成23年度	甚之助谷第2号谷止工、甚之助谷上流第16号砂防堰堤、甚之助谷砂防堰堤群(11基)、柳谷第7号砂防堰堤、御鍋砂防堰堤 登録有形文化財に登録
昭和61年度	小松バイパス部分開通(延長2.2km、小松市八幡～同市東山町)	平成24年度	金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長2.4km、金沢市東長江町～同市鈴見台)
	鹿島バイパス部分開通(延長0.7km、七尾市八幡町～同市下町)	小松バイパス4車線化部分開通(延長2.2km、小松市八幡～同市東山町)	
昭和62年度	香林坊地下横断歩道完成	(延長1.1km、七尾市大泊町～石川富山県境)	
	津幡バイパス部分開通(延長1.7km)	七尾氷見道路部分開通(延長9.3km、七尾市矢田町～同市大泊町)	
	二万堂拡幅(延長0.4km)開通	平成25年度	瀬戸砂防堰堤(改築)完成
昭和63年度	押水バイパス部分開通(延長1.5km、押水町上田出～同町坪山)	河内谷砂防堰堤(改築)完成	
	甚之助谷地すべり災害関連緊急事業竣工式	平成26年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長5.1km、小松市東山町～同市津波倉町)
	離岸堤100基完成／鶴来・鹿島バイパス部分開通(延長1.3km、	七尾氷見道路全線開通(延長3.2km、七尾市千野町～同市矢田町)	
	鹿島郡鹿島町小竹～同町久江)	七尾バイパス部分開通(延長2.7km、七尾市古府町～同市下町)	
平成元年度	金沢西バイパス4車化部分開通(延長1.9km、能美郡川北町字橋～	8号加賀拡幅部分開通(延長1.9km、加賀市加茂町～同市黒瀬町)	
	南郷拡幅4車線化部分開通(延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町)	平成27年度	8号加賀拡幅部分開通(延長0.3km、加賀市西島～加茂町)
	同町朝日)	平成28年度	桑島裏谷土石流対策施設完成
平成2年度	俱利伽羅・小松・押水バイパス等6ヶ所開通(延長15.8km)	平成29年度	榊川分水路完成
平成4年度	松島北交差点立体化(山側)開通	金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長1.8km、金沢市神谷内町～同市東長江町)	
	小松バイパス部分開通(延長3.7km、小松市津波倉町～加賀市箱宮町)	平成30年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長1.1km、能美市大長野町～同市小杉町)
平成5年度	及び鶴来バイパス全線開通	令和元年度	松任海岸徳光地区(砂浜) 海岸保全施設に指定(全国初)
平成6年度	白江大橋完成／白鳥橋の架替供用	令和2年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長1.3km、能美市小杉町～小松市能美町)
	梯大橋完成／犀川大橋補修完成	令和3年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長0.9km、小松市能美町～小松市佐々木町)
平成7年度	金沢バイパス田中交差点(山側)・松島北交差点(海側)立体化部分開通	令和4年度	甚之助谷地すべり万才谷排水トンネル完成
	金沢バイパス松島北交差点(海側)立体化完成	浅野川大橋100周年	
平成8年度	鹿島バイパス部分開通(延長1.5km、鹿島郡鹿島町久江～同町高島)	金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長1.8km、金沢市月浦町～同市神谷内町)	
平成9年度	金沢バイパス田中交差点(海側)立体化完成	令和5年度	輪島道路部分開通(延長4.7km、のと三井IC～のと里山空港IC)
平成10年度	小松バイパス部分開通(延長1.3km、小松市佐々木町～同市八幡)	中山小谷砂防堰堤完成	
平成11年度	津幡北バイパス部分開通(延長1.7km、津幡町倉見～同町庄)		
	フォルテ地下道(太平寺地下道)供用／小松除雪ステーション供用		
平成12年度	歴史国道「俱利伽羅源平の郷・竹橋口」開所		
	前川排水機場完成		

事務所の変遷



データベース

金沢河川国道事務所 管理及び整備区間一覧

一級河川、直轄砂防・直轄地すべり対策
直轄海岸、直轄国道

凡 例	
■ 一級河川 手取川 (手取川ダム含む)
■ 直轄砂防・地すべり 梯川
■ 直轄海岸 砂防指定地 (砂防法第6条)
■ 直轄国道 地すべり防止区域
■ 直轄海岸 石川海岸 (松任・美川・根上・小松・片山津工区)
■ 直轄国道 国道8号
 国道157号
 国道159号
 国道160号
 国道470号



一級河川

(単位:km)

河川名	担当出張所	手取川出張所	手取川ダム管理支所	小松流域治水出張所
手取川 (手取川ダム区間含む)		17.3	20.0 (支川含む)	—
梯川		—	—	12.2

直轄砂防・直轄地すべり対策

砂防指定地 (砂防法第6条)	牛首川流域	牛首川	甚之助谷	別当谷	柳谷	赤谷	湯ノ谷
	尾添川流域	尾添川	オメナシ谷	雄谷	蛇谷	中ノ川	湯谷
地すべり防止区域	甚之助谷地区						

直轄海岸

(単位:m)

直轄海岸施行区域	松任工区	美川工区	根上工区	小松工区	片山津工区	合計
区域延長	4,758	2,805	2,090	5,540	2,325	17,518

直轄国道

(単位:km)

路線名	担当出張所	加賀国道維持出張所	能登国道維持出張所	金沢国道維持出張所	合計
国道8号		49	—	29	78
国道157号		16	—	5	21
国道159号		—	48	15	63
国道160号		—	19	—	19
国道470号		—	25	—	25
合計		65	92	49	206



国道470号(輪島道路)
輪島国道出張所
 〒928-0079 輪島市鳳至町島田99-3
 TEL (0768) 22-1550

道路事業の調査・計画、国道249号復旧
能登復興事務所（本所）
 〒926-0852 七尾市小島町西部2
 七尾地方合同庁舎 3階
 TEL (0767) 52-4511

河川・道路等の用地取得等、国道470号(能越自動車道)
能登復興事務所（小島町分室）
 〒926-0852 七尾市小島町西部1番3
 ワークバル七尾（七尾市勤労者
 総合福祉センター）2階
 TEL (0767) 52-5611

上下水道事業の技術支援等
能登復興事務所（御祓町分室）
 〒926-0811 七尾市御祓町1番地
 フォーラム七尾
 (パトリア4階・5階)
 TEL (0767) 52-3811

国道159・160・470号(穴水道路・七尾水見道路)
能登国道維持出張所
 〒926-0033 七尾市千野町に部28番地
 TEL (0767) 57-0778

河川、砂防、海岸
能登復興事務所（金沢分室）
 〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
 金沢河川国道事務所 1階
 TEL (076) 264-1123

国道8・157・159号
金沢国道維持出張所
 〒920-0064 金沢市南新保町103-3
 TEL (076) 238-5071

手取川
手取川出張所
 〒929-0235 白山市美川永代町甲54
 TEL (076) 278-2152

梯川・石川海岸
小松流域治水出張所
 〒923-0002 小松市小島町ヲ27-2
 TEL (0761) 23-4000

牛首川流域
白峰砂防出張所
 〒920-2501 白山市白峰ツ40番地1
 TEL (076) 259-2890
 白山に学ぶ砂防と防災情報に関して
白山砂防科学館
 TEL (076) 259-2990



国道8・157号
加賀国道維持出張所
 〒924-0032 白山市村井町3
 TEL (076) 276-0797

尾添川流域
尾口砂防出張所
 〒920-2331 白山市瀬戸ワ21
 TEL (076) 256-7004

手取川ダム
手取川ダム管理支所
 〒920-2335 白山市女原ソ18-1
 TEL (076) 256-7310

令和6年度 金沢河川国道事務所 事業概要 ～石川の礎を築く～

●発行／国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所
 〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
 (076) 264-8800 (代表)

総務課 (076)264-8803	工務第一課 (076)264-8547	計画課 (076)264-9912	道路管理第一課 (076)264-9917
経理課 (076)264-8853	工務第二課 (076)264-8575	流域対策課 (076)264-9913	道路管理第二課 (076)264-9918
用地第一課 (076)264-8894	品質確保課 (076)264-8579	海岸課 (076)264-9915	防災課 (076)264-9921
用地第二課 (076)264-8523	流域治水課 (076)264-9910	河川管理課 (076)264-9916	

■ご意見・ご感想をお待ちしています。
 お電話またはホームページからどうぞ。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>



■SNSを利用した情報提供を行っています。
 是非ご覧ください。



道路情報室 X



河川情報室 X